

まちの話題

◎ 「あいちゃんサービスセンター」開設 — “お互い様”の支えあい

「身の回りのちょっとした困りごとの手伝いをしてほしい」「誰かのお手伝いをしたい」という思いをかなえる互助サービス活動がスタートしました。買い物、ゴミ出し、清掃、洗濯、通院補助、見守り声かけなどです。対象は(原則)65歳以上の町民。サポーター(有償ボランティア)も募集中です。



【利用申し込み・サポーター応募・問合せ】 ☎090-8364-2111へ
受付：毎週火・木 9時～15時(事務所：春日台児童館内=春日台3-6-11)

◎ 行政区が講演会 — “つながる学び”に80名

半原地区の5行政区(自治会)が、プラスチックと環境の問題をテーマに開催しました。きっかけは『中津川上流に住む者の思い(清流を守りたい)』で、内容は廃棄物がもたらす生物への影響など多岐にわたりました。

地縁団体の意義の見える化が望まれる時代に、自治会指導者が地域課題を正面に見すえて果敢に投じた一石。初の共催事業の波紋が注目されます。



【9月10日 半原小学校で】

サポセンの動き

◇ 写真で出会える団体活動 — サポセン登録団体の活動

ぶりが一目でわかる巡回写真展です。ふるさとまつり会場での展示を皮切りに、役場ロビー(～11/9)→文化会館(～11/18)→レディースプラザ(～12/2)→ラビンプラザ(～12/16)へ。巡回後はサポセン内で通年展示します。



【10月23日 ふるさとまつりで】

◇ 団体情報をご活用下さい — コロナの影響で事業活動が

減少していますが、情報提供、相談業務は通常どおりできます。

最近では、小学校からの依頼を受けて、特徴ある地域授業のための団体(講師)を紹介しました。

また、放課後の子どもを一時預かりする団体からの要請を受けて、子ども育成団体(指導者)の仲介などをしました。

◇ この広報紙は、ボランティア編集委員が作成しました

サポセンは、ボランティアが躍動する社会をめざしています。広報紙づくりに趣味・特技を役立てたい、と思われる方のご参加を歓迎します。また、サポセンで団体活動をサポートしてみたい方、お気軽にご相談下さい。

あとがき

NPOを大きく取り上げました。役場内には地域の各種団体を補助育成する担当課が従前からいくつもありますが、今日的な課題であるNPO支援については、サポセンの大きな役割の一つです。開設15年。社会の変化に応じた取り組みを探り充実に努めます。

《あいかわ町民活動サポートセンター》

〒243-0392 愛川町角田251番地1
(役場裏の分館＝文化会館との間)

TEL：046-205-1323

FAX：046-205-1324

Eメール：ai-saposen@bz01.plala.or.jp

サポセンHP



【開所時間】 9:30から17:00まで
但し、木曜(祝日を除く)は19:00まで

【休所日】 毎週水曜、年末年始、施設点検日
(祝日＝水曜日は休所、他の曜日は開所)

【利用予約】 打ち合わせや機器を利用する
ときは、事前に電話予約をして下さい。

※ 掲示物等を見るだけの入室は予約不要。

さぽせんあいかわ



【発行】あいかわ町民活動サポートセンター(年2回)

【編集】広報紙編集委員会

全国で

“公的サポートセンター”が誕生したのは、阪神大震災でのボランティアの活躍と、その後にはできたNPO法がきっかけといわれています。(県内には46ヶ所)

自由な社会貢献活動(NPO活動)を支援しています。

サポセンの

あいかわ町民活動サポートセンター

なぜ・なに

愛川町では

NPO(※1)のほか、公益活動団体(※2)も支援しています。

「誰をも幸せにする」すべての団体が発展することで、私たちの町と暮らしがより彩(いろどり)豊かになることをめざします。

サポセンに登録している団体は、約140。その内、NPO法人は8団体。NPO活動をしているが、法人の認証は得ていない団体は数十あります。

くわしくは

※1 NPOとは、様々な社会貢献活動を行い、会員への利益分配を目的にしない団体の総称です。NPOのうち法人格を取得した団体だけが「NPO法人」をかたれます。法人格をもたないNPOは逆に、自在に立ち上げ、臨機応変に活動できます。町内には福祉・健康・文化・教育・まちづくり・環境・人権・平和などの団体が活躍しています。

※2 自発的で不特定多数のために行う体育・文化、青少年、福祉その他の団体がサポセンに登録申請できます。町役場の各担当課から補助等を受けているか否かに関係なく申請できます。登録することで、情報提供、印刷機の利用などのサービスが受けられます。なお、特定の政治・宗教・営利を目的とする活動団体などは登録できません。

まちの あかり NPO

サポセンに登録してるNPO法人に聞きました。
なぜ法人化をめざしたのか？ 得られたものは何か？

NPO法ができて24年。行政その他の既存システムでは対処しきれない課題に向き合うNPO活動は、ますます期待されています。

(応答は、精神障がい者支援施設運営 「NPO法人ライラック心の会」代表 伊藤真弓さん)

◆ “救いの手が届きにくい人” に

— 障がいのある人が願うサービスは多様ですが、行政対応には限りがあります。

きめ細かな支援をしたいと、4年前に会を立ち上げましたが、対象者の深い悩みを受けとめ寄り添うためにも、“組織としての絶対的な信頼”が不可欠と考えるようになり、信用の証(あかし)のひとつとして、昨年NPO法人格を取得しました。

◆ 認証団体だけが使える「NPO法人」という呼び名

— NPO法人の格付けは国の制度です(実務は県)が、認証を受けるためには、事業だけでなく組織や役員、経理や運営などが基準に達しているか厳重に審査されます。認証後も毎年、詳細で適正な報告書を提出する義務があります。不適切な場合は取り消しなどされます。

◆ 法人化で変わること

— 法人格とは、権利・義務の主体になることです。預金口座や事業所の家賃契約などは、それまでは個人名でしかできませんでしたが、法人化したことで団体名でできるようになりました。大きなメリットです。

他方、経理報告や情報公開の義務が課せられます。NPOは営利を目的としません(利益の分配はしません)が、有料事業をしたり、給料などを出すことができます。そのため、厳正な運営が求められているのです。

税の面では、事業の内容によっては法人税が免除になります。また、寄付した人が税の控除を受けられる場合があるので寄付が促されるという利点があります。



相手側の受けとめ方が重くなりました

【NPO代表 伊藤さん サポセンで】

次号で、サポセン登録中のNPO全8団体を紹介します。

出会い

(家庭や職場以外での)

ぬく
温もり

おしゃべり

ふれあい

学びあい

成長 充実

サードステージを 仲間と共に

楽しい輪

発散 解放

さまざまな団体があなたをお待ちしています。
まずはサポセンで色々な団体の活動を知って下さい。

吹き飛ばす!!

閉塞感も
孤立感も



玄関 開けたら
♪ 2分で
出会う ??

サポセンは団体情報の宝庫です。

登録団体から持ち込まれたチラシやポスターを ①イベント情報 ②会員募集 ③団体PR に区分して掲示。更に、③団体PRコーナーは i) 個人の楽しみ ii) みんなの支えあい iii) 大切なものを大切に と分けています。これらの登録団体情報のほか、団サポセン関連情報 団地域情報 団行政その他情報のコーナーがあります。